



# 国連生物多様性の10年市民ネットワーク 2018年度通常総会 議事次第

日時：2017年6月30日（土）15:00～17:00

会場：環境パートナーシッププラザ

## AGENDA

開会の言葉

議長選出

議事録署名人選出

議案審議

第一号議案 国連生物多様性の10年市民ネットワーク 2017年度事業報告(案)

第二号議案 国連生物多様性の10年市民ネットワーク 2017年度決算(案)

第三号議案 国連生物多様性の10年市民ネットワーク 2018年度事業計画(案)

第四号議案 国連生物多様性の10年市民ネットワーク 2018年度予算(案)

閉会の言葉

## 1 第一号議案 2017年度事業報告（案）

### (1) 地球環境基金

報告書参照

### (2) SBSTTA21/8(j)WG 報告

ウェブ参照

### (3) 会員向けメールマガジン

第116号（2017年4月）～第122号（2018年1月）を発行した。

### (4) 会員管理(会費支払い済(未払))

	正会員	賛助会員	合計
団体	3(8)	0(1)	3(8)
個人	10(40)	0(0)	10(40)
合計	13(48)	0(1)	13(48)

(2018年6月25日現在)

### (5) にじゅうまるプロジェクト

「愛知ターゲットガイド」の積極的な販売

### (6) ホームページ編集チーム

1. ミーティングの開催（計1回）2018年1月22日

2. 「生物多様性・特派員メモ！」の定期更新（計7本）

[内容] ライト層向け普及啓発 2017年8月5日（藤田）、2018年1月13日（萩岡）、1月19日（秋元）、3月8日（萩岡）、3月20日（藤田）、3月20日（藤田）、3月20日（藤田）

3. イベント報告の定期更新（計2本）2017年8月31日（藤田）、2018年2月17日（藤田）

4. facebook、『市民ネット通信』との連動

### (7) 会員グループ/地域ネットワーク

#### ① たねと農業会員グループ(休止中)

#### ② 中部地域ネットワーク

伊勢湾流域圏を考えるシンポジウム第3回を2018年2月に豊橋で開催した。統合的政策検討のため、沖縄高江の森で蝶や鳥の観察・調査をしているアキノ隊員（宮城秋乃氏）が基調講演を行った。また、地域からの事例報告として三河地域の生態系保全の現場の実践と課題を共有しながら愛知目標がかかげる価値について議論を深めた。今回は高校生の報告などもあり、会場からの発言も積極的になされ大変充実したシンポジウムとなった。準備段階においても、定例の勉強会を重ねることで、ネットワークのつながりが深まっていることが成果となっている。

### ③ ABS 会員グループ

インターネット上で名古屋議定書批准国の状況など、メーリングリストで共有された情報をグループメンバーに共有した。

また、メンバーが 8j ワーキンググループに参加し、名古屋議定書の実践におけるコミュニティプロトコルのあり方などを議論するメキシコのグループ主催のサイドイベントにおける意識調査に貢献した。

### ④ ホットスポット会員グループ

1. リニア中央新幹線問題をめぐって長野県大鹿村での戦略ミーティングを行ったが、すでに工事が着工され非常に厳しい状況。住民の分断、地域の解体が起きないように取組みを提案。
2. 大間原発建設をめぐり住民と対話。
3. 原発問題、放射能汚染について SBSTTA21 で GBD アライアンスに提言。
4. グリーンスポットとして、奥入瀬溪谷の取組み、山形県置賜地方の在来野菜の取組み他、福島県昭和村のからむし織の伝承、岩手県遠野の取組み、長野県遠山郷の霜月祭りを取材。

### ⑤ 法制度グループ

1. 基礎自治体の生物多様性地域戦略策定の動きを加速するため、市民側から動き出すためのワークショップ、ミーティングを新潟県魚沼市、埼玉県秩父市、神奈川県鎌倉市でさらに進めた。
2. 新たな地域として福岡県糸島市、東京都八王子市において、生物多様性地域戦略に関する市民学習会、ミーティング、行政との対話をスタートした。
3. すでに生物多様性地域戦略を策定済みの基礎自治体における実効性を高めるため、神奈川県相模原市が行政と市民でつくっている「さがみはら生物多様性ネットワーク」の広報部会に参加。
4. 生物多様性地域戦略を広域で策定しようとしている大阪府吹田市行政（市長・環境課）と対話し、琵琶湖の保全活動や魚のゆりかご水田との連携を提案。

### ⑥ TEEB 会員グループ

「自然と共生する地域づくりを考える」Facebook ページ(1,193 名登録)を継続運営した。<https://www.facebook.com/groups/jsn.cbd/>

### ⑦ グリーンインフラ会員グループ

1. 都市計画家協会にて専門家を呼んだ研究会を 5 回開催。
2. グリーンインフラ研究会公開セッション「日本的グリーンインフラの概念を再構築する」を開催。パネラーは、加藤孝明（東大）、福岡孝則（東農大）、西田貴明（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング）、三浦友幸（プロジェクトリアス）、坂田昌子（UNDB 市民ネットワーク）
3. 「全国まちづくり会議 2017 in 横浜」でグリーンインフラ分科会を開催。

4. 兵庫県豊岡市のコウノトリ野生復帰の取組みとグリーンインフラ（河川）について視察。

⑧ 海洋保全会員グループ

1. 勉強会/提言

SBSTTA21 で議論された「海洋・沿岸生物多様性」に関して、サンゴ礁保全、持続可能な漁業および沿岸管理の取組み加速に関する提言の検討に向けた勉強会を7回開催し、提言をまとめ、配布した。

2. 海洋保全シンポジウム

ワークショップ「ユースで変えよう！地球温暖化 ～日々の暮らしから世界まで～」を2月に開催した。

3. 里海事例収集

荒尾・舞鶴・宮崎について良好事例の収集を行った。

⑨ 四国地域ネットワーク

1. 9月に「私たちが目指す地域づくり～四国版ローカルSDGsをつくろう～」を徳島県内子町で、12月に「私たちが目指す地域づくりー四国版ローカルSDGsをつくろうー高知編」を高知市で開催した。

2. ローカルSDGs 検討のため、SDGs 関連セミナーに2回参加した。

2 第二号議案 2017年度決算（案）

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

国連生物多様性の10年市民ネットワーク

[税込] (単位：円)

全事業所

自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	138,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	331,148	
【受取助成金等】		
受取助成金	3,953,000	
受取負担金	27,500	
【その他収益】		
受取 利息	9	
経常収益 計		4,449,657
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
業務委託費	1,040,500	
諸 謝 金	95,000	
印刷製本費(事業)	115,413	
旅費交通費(事業)	2,483,178	
通信運搬費(事業)	35,133	
消耗品 費(事業)	3,191	
賃 借 料(事業)	231,840	
諸 会 費(事業)	115,000	
支払手数料(事業)	7,128	
その他経費計	4,126,383	
事業費 計		4,126,383
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
印刷製本費	1,410	
通信運搬費	60,432	
賃 借 料	30,000	
諸 会 費	30,000	
支払手数料	3,754	
その他経費計	125,596	
管理費 計		125,596
経常費用 計		4,251,979
当期経常増減額		197,678
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		197,678
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		197,678
前期繰越正味財産額		229,664
次期繰越正味財産額		427,342

## 貸借対照表

国連生物多様性の10年市民ネットワーク  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2018年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	186,542
現金	360	短期借入金	1,721,432
普通預金	34,956	流動負債計	1,907,974
現金・預金計	35,316	<b>負債の部合計</b>	<b>1,907,974</b>
(金銭債権)		<b>正味財産の部</b>	
未収金	2,300,000	<b>【正味財産】</b>	
(金銭債権) 合計	2,300,000	前期繰越正味財産額	229,664
流動資産合計	2,335,316	当期正味財産増減額	197,678
		正味財産計	427,342
<b>資産の部合計</b>	<b>2,335,316</b>	<b>正味財産の部合計</b>	<b>427,342</b>
		<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>2,335,316</b>

## 財産目録

国連生物多様性の10年市民ネットワーク  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2018年 3月31日 現在

《資産の部》	
<b>【流動資産】</b>	
(現金・預金)	
現金	360
普通預金	34,956
ゆうちょ銀行東京	(20,188)
ゆうびん振替口座	(0)
りそな銀行UNDB	(9,946)
りそな銀行sakata	(4,822)
現金・預金計	35,316
(金銭債権)	
未収金	2,300,000
地球環境基金	(2,300,000)
(金銭債権) 合計	2,300,000
流動資産合計	2,335,316
資産の部 合計	2,335,316
《負債の部》	
<b>【流動負債】</b>	
未払金	186,542
坂田	(122,219)
後藤	(28,843)
青木ゆきこ	(35,480)
短期借入金	1,721,432
後藤	(221,432)
アース・エア・リテイ	(1,000,000)
三石朱美	(500,000)
流動負債計	1,907,974
負債の部 合計	1,907,974
正味財産	427,342

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

国連生物多様性の10年市民ネットワーク

自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日

<b>【経常収益】</b>			
<b>【受取会費】</b>			
正会員受取会費	138,000		
<b>【受取寄付金】</b>			
受取寄付金	331,148		
<b>【受取助成金等】</b>			
受取助成金	3,953,000		
受取負担金	27,500		
<b>【その他収益】</b>			
受取 利息	9		
<b>経常収益 計</b>	9		4,449,657
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
業務委託費	1,040,500		
諸 謝 金	95,000		
印刷製本費(事業)	115,413		
旅費交通費(事業)	2,483,178		
通信運搬費(事業)	35,133		
消耗品 費(事業)	3,191		
賃 借 料(事業)	231,840		
諸 会 費(事業)	115,000		
支払手数料(事業)	7,128		
<b>その他経費計</b>	4,126,383		
<b>事業費 計</b>	4,126,383		4,126,383
<b>【管理費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
印刷製本費	1,410		
通信運搬費	60,432		
賃 借 料	30,000		
諸 会 費	30,000		
支払手数料	3,754		
<b>その他経費計</b>	125,596		
<b>管理費 計</b>	125,596		125,596
<b>経常費用 計</b>	4,251,979		4,251,979
<b>当期経常増減額</b>			197,678
<b>【経常外収益】</b>			
<b>経常外収益 計</b>			0
<b>【経常外費用】</b>			
<b>経常外費用 計</b>			0
税引前当期正味財産増減額			197,678
<b>経理区分振替額</b>			0
当期正味財産増減額			197,678
前期繰越正味財産額			229,664
<b>次期繰越正味財産額</b>			427,342

# 監査報告書


国連生物多様性の10年市民ネットワーク 殿

2016年4月1日から2017年3月31日の国連生物多様性の10年市民ネットワークの財務諸表（活動計算書・貸借対照表）及び財産目録等の決算書、並びにそれに関する会計帳簿・証憑類を会計監査した結果、会計は基準に従って妥当に処理されていたと認める。

また、事業及び業務執行については、適切に行われていたと認める。

2017年7月26日

監事

鳥居 翼 

---

監事

川合 千代子 

---



### 3 第三号議案 2018年度事業計画（案）

#### (1) 予算計画

新規助成金の獲得に向けた取り組みを行う。

#### (2) CBD COP14に向けた取り組み

2018年11月にエジプトで開催されるCBD COP14に向け、提言および他国NGOとの連携強化のためSBSTTA22に参加する。

#### (3) 国内外団体との連携

活動の強化に向け、IUCN等の団体への参画、および当会の団体会員の増加に向けた取組を行う。

#### (4) ホームページ編集チーム

##### 1. 「特派員メモ!」、イベント報告の定期更新

取材旅行、記事内容の充実・幅の拡大、計15本を目標

##### 2. ホームページレイアウトの編集

「役員ほか」の変更。団体リスト・リンクページを作成。

#### (5) 会員グループ/地域ネットワーク

##### ① たねと農業会員グループ(活動休止中)

##### ② 中部地域ネットワーク

1. 定期的に愛知目標の実践に関する勉強会を開催し、各メンバーの活動状況の共有などネットワークとしての機能を深める。2020年以後の愛知目標の理念実現にむけた行動計画などについても具体的に検討する。

2. 伊勢湾流域圏の再生を考えるシンポジウムを今年も実現する方向で準備する。資金については、協力団体との調整の他、自己資金の獲得をめざす。

3. COP14にむけて、国際的な市民社会の議論を踏まえ、中部地域の取組み・愛知目標への評価など発信する。COP14にメンバーが参加出来るならば、これまでの取組みと同じく、ポスターでの発信を行う。

##### ③ ABS会員グループ

1. インターネット上での情報共有などについて具体的にしくみを確立し、ABSに関心のある市民との関係を広げていく。

2. 特にCBD-COPに参加する先住民族と地域コミュニティコーカス、NGOからの情報収集は積極的に意識して行う。

3. COP14への参加が実現できた際には、NP-MOP3についても報告会を行い、COP15以降にも係属して、名古屋議定書、ABSに関する市民社会の議論や発信の場がつけられることをめざし、基盤づくりをととのえる。

##### ④ ホットスポット会員グループ

1. リニア中央新幹線問題については、地域の取組みに限界があるため、日本歴史上前代未聞の森林破壊として全国的に問題意識を喚起する。

2. 原発、放射能汚染についての情報収集。
  3. グリーンスポットとして、宮崎県椎葉村（やきはた農業）、綾町（日本最大の照葉樹林の保全）、猪八重（いのはえ）渓谷の服部植物研究所を取材する。
- ⑤ 法制度グループ
1. 新潟県魚沼市の環境課、観光課、温泉宿と連携し、生物多様性地域戦略が環境保全に留まらず、生物多様性を持続可能に活かした地域活性化を作り出す具体的なモデル構築。
  2. 秩父市、鎌倉市は、市民勉強会を継続。
  3. 「さがみはら生物多様性ネットワーク」継続。
  4. 吹田市における琵琶湖の魚のゆりかご水田活用の推進。市街化調整区域ゼロの吹田市で都市における生物多様性保全のモデル構築。
- ⑥ TEEB 会員グループ（活動休止中）
- ⑦ グリーンインフラ会員グループ
1. 研究会継続。
  2. 「全国まちづくり会議」参加。
  3. 日本的グリーンインフラを各地から情報収集。
  4. グリーンインフラシンポジウム 1~2 回開催。
  5. COP14@エジプトで、議題「インフラ分野における生物多様性の主流化」の情報収集と国交省への提言。
  6. グリーンインフラとしての玉川上水の評価 → 小泉武栄（環境地理学）、新里達也（日本甲虫学会会長・明治神宮場内生物調査事務局）と連携。
  7. 予算が確保できれば視察 1 回（場所未定）。
- ⑧ 海洋保全会員グループ
1. 勉強会/提言  
SBSTTA22/COP14 で議論される「海洋・沿岸生物多様性」に関して、サンゴ礁保全、持続可能な漁業および沿岸管理の取り組み加速に関する提言の検討に向けた勉強会を行う。
  2. 海洋保全シンポジウム  
国際サンゴ礁年 2018 に合わせサンゴ礁生態系の保全に関する一般の方への普及啓発のため、東京都内で他団体と共催したイベントを開催する。
  3. 里海事例収集  
里海の良い事例の収集を行う。
- ⑨ 四国地域ネットワーク
- 今年度も SDGs を見据えた活動を行う。具体的には、地域目標を設定するためのワークショップを四国内 2 か所で開催する。また、組織体系や情報収集発信の能力整理を行う。

#### 4 第四号議案 2018年度予算(案)

区 分	内 訳	要望額 (千円)	自己資金 (千円)	計 (千円)
活動1	愛知ターゲット達成に向けた国際会議への市民の参画の拡大			
①賃金				0
②謝金	国際会議報告会 講師謝金 20千円×10名	200		200
	勉強会・提言活動 講師等謝金 20千円×10名	200		200
③旅費	生物多様性条約SBSTTA22/SBI2派遣 300千円×3名	600	300	900
	生物多様性条約COP14派遣 300千円×5名	900	600	1500
	国際会議報告会 5か所 20千円×10名	200		200
④物品・資材購入費				0
⑤借損料・役務費	国際会議報告会 会議室 20千円×5回	100		100
	勉強会会議室 10千円×20回	200		200
	事務活動委託	160		160
	提言翻訳代 2千円×15枚×2回	60		60
⑥事務管理費	事務費	50	50	100
活動1小計		2670	950	3620
活動2	地域における愛知ターゲット達成に向けた取り組みの強化			
①賃金				0
②謝金	ヒアリング謝金 20千円×40名	400	400	800
③旅費	地域戦略策定支援 派遣 20千円×5地域×3回×2名	600		600
	情報収集&ヒアリング 派遣 50千円×20地域×1名	750	250	1000
④物品・資材購入費				0
⑤借損料・役務費	会議室 20千円×5地域×3回	300		300
	レンタカー・ガソリン代 10千円×20地域×1名	150	50	200
	事務活動委託	160		160
⑥事務管理費	事務費	50	50	100
活動2小計		2410	750	3160
活動3	ポスト愛知ターゲットに向けた中長期戦略の検討			
①賃金				0
②謝金	シンポジウム/事例収集 専門家謝金 20千円×10名	200		200
③旅費	シンポジウム/事例収集 派遣 50千円×10名	250	250	500
④物品・資材購入費				0
⑤借損料・役務費	報告書(デザイン及び印刷) 一式	258		258
	事務活動委託	160		160
⑥事務管理費	事務費	50	50	100
活動3小計		918	300	1218
活動評価等				
③旅費	個別面談 交通費	2		2
活動評価等経費小計		2	0	2
全体計		6000	2000	8000